

東京2020パラリンピック！結果発表！！

前号の東京オリンピックの結果に続き、今号では、ドイツ卓球チームとザンビア代表の東京パラリンピックでの結果を紹介します。

大活躍 ドイツパラ卓球

日独交流事業において、旭市と交流を続けているドイツの卓球クラブ、ボルシアデュッセルドルフから3名の選手がドイツ代表として出場しました。

ハウス選手が金メダル、シュミットパーガー選手が銀メダルを2つ獲得するなど、パラ卓球ドイツ代表の中でも特に活躍が目立ちました。パラ卓球の見どころは、全選手が型にはまらない、多種多様なフリースタイルを持っているところにあります。また、健常者の試合にも劣らないスピードのあるラリーや独特の戦術性など多くの魅力があり、今大会においてもパラ卓球ならではの見どころがある試合が展開されました。



右からシュミットパーガー選手、ミコラシエク選手、ハウス選手

ドイツ (卓球競技)			
出場種目	出場選手	クラス	結果
男子シングルス	シュミットパーガー選手	C3	銀メダル
	ハウス選手	C5	金メダル
女子シングルス	ミコラシエク選手	C4	ベスト8
男子団体	ブリュール選手	C3	銀メダル
	シュミットパーガー選手		

※太字はボルシアデュッセルドルフ所属の選手
※その他種目に計8名の選手が出場し、合計5個のメダルを獲得

あさひオリンピックピック新聞

2021.11月号
最終号

発行者
旭市教育委員会
体育振興課



ザンビアのパラアスリート

今大会ザンビア唯一のパラリンピアンであるムンガ選手は、アルビノの症状に伴う視覚障がいがあり、レーンが上手く見えない中、足の感覚を頼りに走ります。

アフリカでは、アルビノに対する差別や迫害、迷信が残っている地域があり、命の危険にさらされてしまうこともあります。

ムンガ選手はパラリンピックの舞台で、同じ境遇の人たちや同じ症状の人たちに勇気を与えられるように頑張りたいと語りました。

大会では、惜しくも決勝進出を逃してしまいましたが、自己ベストを大幅に更新する力強い走りを見せてくれました。

モニカ・ムンガ
女子400m T13
記録1分5秒79
予選2組第5位 (全体14位)
予選敗退



モニカ・ムンガ選手

旭×オリンピックニュース

ザンビア選手へ応援メッセージ

ザンビアにある日本大使館で行われた東京パラリンピック壮行会では、市長から「ムンガ選手が障がいを乗り越え、自分の限界に挑む姿が旭市に勇気と感動を与えてくれると信じています。」との応援メッセージを送り、ムンガ選手の健闘を祈りました。



市長のメッセージが紹介された様子

ホストタウン功労賞受賞！

内閣官房が主催する東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン功労者表彰において、旭市立第二中学校が功労賞を受賞しました。

オリンピック・パラリンピック教育推進校としてザンビア選手団へ向けた応援メッセージ動画の作成やオリンピック講演会の開催、イベントにおいての会場清掃などを行ったほか、パラリンピック聖火リレーの探火式では、自ら火をおこして聖火をつくりました。これらの取り組みが高く評価され、今回の受賞に至りました。

また、旭市においても、優れたホストタウン交流活動が認められ、表彰状が授与されました。

ザンビアから旭市へ 友情の記念品

東京2020オリンピックに出場した選手たちのユニフォームや開会式でザンビア選手団が着用した衣装などの記念品がザンビアオリンピック委員会からザンビア大使館を通じて、旭市に届けられました。

記念品を受け取った際には、旭市とザンビアの今後の交流について、歓談を行いました。この日旭市を訪れたアワ参事官からは、「応援してくれた旭市には大変感謝している。これからも産業や教育などの交流を通して、旭市とザンビアの友情を深めていきたい」とのコメントをいただき、末永く交流が続くことに期待をよせました。



ザンビアからの 記念品一覧

- ①女子サッカーユニフォーム
バーバラ・バンダ選手
- ②ボクシングユニフォーム
ステファン・ジンバ選手
パトリック・チニエンバ選手
- ③柔道着
スティーブン・ムンガンドウ選手
- ④東京オリンピック開会式衣装
- ⑤ザンビアオリンピック委員会ポロシャツ
- ⑥スカーフ
- ⑦銅製掛け時計
- ⑧木製工芸品
- ⑨ザンビアオリンピック委員会バッジ

東京2020 オリンピックレガシー

総合体育館にて展示中

ザンビアから贈られた記念品の数々は旭市総合体育館に展示されています。中でも、注目はオリンピック史上初となる女子サッカー2試合連続ハットトリックを達成したバーバラ・バンダ選手のユニフォームです。こちらは総合体育館2階の観客席入口前に展示されています。これらの記念品は東京2020オリンピックのレガシーとしてとても貴重なものです。他にも東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレートーチやもう一つのホストタウン相手国であるドイツとの交流を記念した品々も展示していますので、ぜひご覧ください。



バンダ選手ユニフォーム



ザンビアからの記念品

オリパラ出場者には100万円！

旭市内アスリートを応援します

旭市では、スポーツ競技において、全国大会や国際大会に出場した市内在住の個人と市内に拠点を置く団体に奨励金を交付しています。オリンピック・パラリンピックに出場すれば、なんと奨励金は100万円になります。市内アスリートの皆さんはより高みを目指し、頑張ってください。

※小中学校の部活動での大会出場は、本制度の対象とはなりません。詳細は市のホームページ(下記QRコード)をご覧ください。



編集後記

1年5か月にわたり、あさひオリンピック新聞をご覧いただきありがとうございました。「コロナ禍によって旭市での聖火リレーや事前キャンプは中止となってしまいましたが、この新聞を通じて、オリンピックやホストタウンへの理解を少しでも深めていただけたらうれしく思います。「コロナ禍が1日でも早く終息することを願うとともに、これからの旭市とホストタウン相手国との交流を楽しみにしています。」

体育振興課 菱木(1号、3号、5号、6号、7号担当)

東京2020オリンピック・パラリンピックが終了し、あさひオリンピック新聞も今号で最終号となります。今までの記事を楽しんで読んでもらえたら幸いです。今後ドイツやザンビアとの交流は続いていきますので、ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。最後までご覧いただきありがとうございました。

体育振興課 宇井(2号、4号、8号、9号担当)